

# 水戸農業協同組合

## 業務報告書 ダイジェスト版

- 令和7年度事業報告
- 令和8年度事業計画



digest version



代表理事組合長

園 部 優

組合員の皆さまにおかれましては、日頃よりJAの事業運営にご理解とご協力を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、近年の農業情勢は、国内外のさまざまな要因により大きく変動しております。とりわけ、昨今の中東情勢、なかでもイランをめぐる緊張の高まりは、燃料費や肥料価格、さらには資材コストの高騰を招き、農業経営を直撃しております。また、国際物流の不安定化は、飼料や農業資材の安定供給にも影響を及ぼす懸念がございます。

国内農政に目を向けますと、本年4月には食料システム法が施行され、我が国の食料の安定供給や持続可能な農業の実現に向けた新たな枠組みがスタートいたしました。この法律は、生産から流通、消費に至るまでの一体的な改革を促すものであり、私たち農業者にも環境負荷の低減や生産性の向上、安定供給への責任といった新たな役割が求められております。一方で、国や関係機関による支援の充実も期待されており、これを好機と捉え、地域農業の発展につなげていくことが重要であります。

このように、農業を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、令和7年度の当JAでは、3ヵ年計画の初年度として、第30回JA大会決議である「農業」「地域・暮らし」「組織・経営」「情報発信」の4本柱に基づいて、「組合員・地域住民とともに笑顔になれるJA」を目指し、皆さまとの対話活動・組合員会議でいただいた貴重なご意見・ご要望を踏まえながら事業活動に邁進してまいりました。

3ヵ年計画の2年次となる本年度は、「持続可能で高付加価値な茨城農業の実現」への取り組みを、次の段階へ歩みを進めているところであります。

本年度は、「食料・農業・農村基本法」の改正を受けて、5ヵ年を農業構造転換集中対策期間として、食糧安全保障の確保と生産基盤強化をするための施策を展開している中にあります。担い手の確保・育成とともに、環境に配慮した持続可能な農業の構築を引き続き取り組んでまいりたいと思います。

更には、今まで以上に担い手・多様な農業者の皆さまとの繋がりを大切に、「農業者の所得増大」と「食の安定供給」に向けて職員の資質向上と販売力の強化、異常気象下における的確な営農支援、生産コスト削減に向けた適切な生産資材の提案等を進めてまいります。

また、令和8年度より、新たに暮らしの相談員を設置し、本格的に相続相談、事業継承など組合員の世代交代に対する支援、担い手の確保・育成に取り組んでいきます。そして引き続き対話や渉外活動を通じた組合員・利用者の皆さまとの接点強化によるニーズの把握により、社会環境に適応した商品・サービスの提供と利用者へ寄り添った提案を継続的に実施してまいります。

組合員の皆さまにおかれましては、なお一層のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

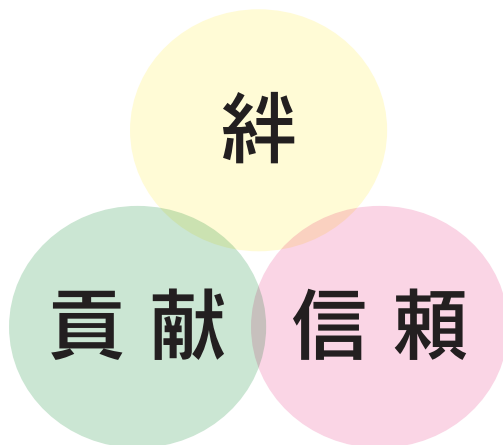
貢献、絆、信頼——。

食と農・地域が一体となって、顔が見える組織づくりで  
「創造と成長」の新しいJAへ

JA水戸は、農業と地域にかかわる人々が、いつも身近で一番に感じられ、信頼される組織づくりに努めています。「顔が見えるコミュニケーション」というJAの良さを継承・発展させ、農業と地域社会の活性といった組織の目標を誠実に果たしていきます。

そのため、農業・経済・社会環境の変化、そして価値観の多様化に柔軟に対応するために、JA水戸は、経営理念を定めています。事業活動を通して農業・地域に「貢献」できるJAとして、人と農と地域の輪をつなぐ「絆」を育み、地域社会で「信頼」される組合員・役職員が一体となって、「創造と成長」する新しいJAづくりに取り組んでいます。

## ■ 経営理念



## ■ JA水戸OweNロゴマーク



### 【目次】

トップメッセージ	2
JA水戸の目指すもの	3
JA水戸の自己改革取組成果（要約）	4
JA3ヵ年計画基本方針	6
第34事業年度（令和8年度）事業計画基本方針	7
第33事業年度（令和7年度）貸借対照表／第34事業年度（令和8年度）財務計画	8
第33事業年度（令和7年度）損益計算書／第34事業年度（令和8年度）損益計画	10
第33事業年度（令和7年度）ハイライト／第34事業年度（令和8年度）事業計画	11
主な事業所一覧	15

## 農 業

### 地域を支える多様な担い手の確保・育成

TAC（営農指導員）による栽培技術の習得・作物提案により新規就農者の販売額増加の支援を行いました。

また、組合員の税務申告の事務負担軽減のための記帳代行支援の実施や経営改善の指導を行える人材育成、混合堆肥複合肥料へ銘柄を集約するなどの生産資材コスト低減に取り組みました。



### 環境に配慮した農業の販売強化

土壌診断に基づく適正施肥による化学肥料の削減に取り組んだほか、有機農業研究会によるPR活動および直売所「わたまる」への専用コーナー設置など、有機栽培・特別栽培の販売拡大に努めました。

また、各部門と連携した農業支援の強化、SNSを活用した情報発信により、持続可能な地域農業づくりに取り組みました。



### 高付加価値化（ブランド化）への取り組み

適正な栽培管理の徹底・栽培技術の高位平準化によるブランド力の向上を図ったほか、実需者ニーズに合わせた新規作物の提案、契約栽培による生産者の所得確保に取り組みました。

また、米づくりにおいては、高温対策技術の普及と高温の影響を受けにくい品種の導入をすすめました。



## 地域・くらし

### 総合事業による組合員の豊かなくらしの実現

#### JAファンづくりの展開

親しみやすいJAを目指し、各事業による組合員・利用者へ寄り添ったサービスの提供とくらしの活動の強化に取り組みました。

特に、専門家による個別相続相談会を初開催し、相談機能の拡充を図りました。



#### 食農教育活動

次世代を担う子供たちに地域の農業への理解促進を図っています。



## 組織・経営

### 信頼される「人材」育成と確保

組合員や地域の皆さまに信頼される人材育成のため、専門的な技術・知識を持った職員育成の強化、魅力ある職場環境づくりに努めました。業務のデジタル化・DXにあたり、基礎的な知識のための資格取得の奨励などに取り組みました。

### 組合員の意志反映・運営参画の強化と「見える化」

#### 組合員との対話活動の実践

令和7年から9年度の3ヵ年において全ての正組合員の皆さまを対象に訪問による対話活動を行っています。

また、その結果を組合員会議・広報誌で報告するなど、意見・要望と事業運営への反映の「見える化」に努めました。



## 情報発信への取り組み

### JAグループらしい積極的・効果的な情報発信

組合員の皆さまからの要望を受け、広報誌「協同の心」令和7年7月号より「+（ぶらす）」版として3か月ごとに4ページ増量して発行。また、JA水戸公式LINEなどSNSを活用した地域農業やJAの情報発信を強化しました。



## 組合員・地域住民とともに笑顔になれる J A をめざして

### ～農業×地域× J A～

当 J A は令和 4 年度より、組合員との徹底した対話に基づいて、「農業者の所得増大」、「地域とのくらしを豊かにする協同組合運動の実践」「 J A 自己改革を実現するための組織・事業基盤の拡充強化」を 3 つの柱とする自己改革に全力で取り組んできました。

これまでに自己改革として、4～6 年度において正組合員 3,000 名、准組合員 6,000 名を対象とした組合員アクティブメンバーシップアンケートを実施し、組合員の事業利用や組合組織の参加度合い、その他さまざまな J A に対するニーズ調査を行いました。

この結果、多くの組合員から、一定の評価と今後の J A や地域農業振興への期待やより一層の事業運営への要望など多くの貴重なご意見をいただくことが出来ました。

J A グループ茨城では、令和 6 年 10 月第 30 回茨城県 J A 大会において、3 つの柱（「農業」「地域・くらし」「組織・経営」）を継続するとともに「情報発信」を加えた 4 つの柱に基づき、減少する正組合員数に歯止めをかけるため、新規組合員の確保と現組合員の維持を中心とした担い手の確保・育成を最重点取り組みとして、持続可能で高付加価値な茨城農業の実現に向けて、取り組むことを決議しました。

当 J A はこの大会決議を受けて、4 つの柱（「農業」「地域・くらし」「組織・経営」「情報発信」）に基づき、新 3 年計画を策定しました。

当 J A は地域になくってはならない J A として、自己改革の実践を支える持続可能な組織・経営基盤の確立・強化とともに、組合員との徹底した対話を通じ、総合事業を基本として「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

改革の取り組みと成果について、より一層の組合員との対話や接点強化を図り、組合員に寄り添った事業運営を展開して、次の改革につなげることで PDCA サイクルを回し、自己改革を着実に実践します。

## J A 水戸が目指す姿

笑顔で農業を営める魅力ある農業の創出

組合員・地域住民と共に笑顔で暮らせる、みんなの J A 水戸の確立

期待に応え、実行できるための組織基盤・経営基盤の強化

## 基本方針

1. J A 水戸は役職員一人ひとりが正面から組合員・地域住民と向き合い、対話を行いながら、あらゆる課題・ニーズに対して J A の総合事業を活かし、組合員・地域住民を笑顔に出来るような組織を目指していきます。
2. 農家組合員の所得向上と安定を最優先課題として高付加価値（ブランド化）や J A 水戸独自販路の強化を図っていきます。また生産コストの低減、担い手の確保、育成先端技術による省力・低コスト農業の実現に積極的に取り組んでいきます。
3. 地域の生活インフラの一翼を担う J A として、総合事業を通じて組合員・地域のくらしを守ります。出向く活動を通じて高齢者向けサービスの充実に取り組むほか、次世代層向けサービスも拡充します。

近年の農業を取り巻く情勢は、肥料・飼料などをはじめとする資材価格の高騰に加え、燃料費や人件費の上昇などにより、生産コストの増加が経営を大きく圧迫する状況が依然と続いています。また、気候変動の影響による高温・豪雨などの異常気象が各地で発生し厳しい状況が続いています。

このような中、「食と農を基軸とした地域に根差した協同組合」として、組合員をはじめとする地域農業の現状の声を大切にしながら、営農を支える取り組みを着実に進め、将来につながる農業・地域・組織づくりを次の段階へと歩みを進めていきます。

3ヵ年事業計画の2年次となる本年度は、第30回JA大会で決議された「持続可能で高付加価値な茨城農業の実現」に向け、組合員の財産を次世代へ円滑に引き継ぐためのサポートとして相続相談機能の強化、接点強化のために対話活動を継続的に実施し、生産現場の支援強化と収益確保にむけた構造的な改善の見直しと、その成果を事業の利用向上へ結び付けることで、事業計画を達成します。

以上のことを踏まえ、令和8年度は以下の運動目標に沿った各部門での取り組みを進めていきます。

## 運動目標

### I 農業

1. 担い手の確保・育成
2. 環境に配慮した農業の展開
3. 高付加価値化（ブランド化）への取り組み

### II 地域・くらし

1. 総合事業による組合員の豊かなくらしの実現
2. 食農教育の展開
3. JAファンづくりの展開

### III 組織・経営

1. 組織基盤の維持拡大の強化
2. 職員の人材確保・求められる職員の育成
3. 健全強固な経営基盤の確立

### IV 情報発信

1. 広報戦略の確立と着実な実践
2. 職場内での情報共有の強化

# 第33事業年度(令和7年度)貸借対照表/第34事業年度(令和8年度)財務計画

## ●資産の部

(単位：千円)

科 目	金 額	
	令和7年度実績 令和8年1月31日	令和8年度計画 令和9年1月31日
1. 信用事業資産	138,779,903	135,310,000
(1) 現 金	618,511	600,000
(2) 預 金	96,552,537	92,085,000
(3) 有価証券	2,895,188	4,414,000
(4) 貸出金	38,074,286	37,611,000
(5) その他の信用事業資産	703,380	660,000
(6) 貸倒引当金	▲64,000	▲60,000
2. 共済事業資産	1,452	5,000
(1) その他の共済事業資産	1,452	5,000
3. 経済事業資産	1,947,082	2,005,000
(1) 経済事業未収金	680,767	700,000
(2) 経済受託債権	12,142	20,000
(3) 棚卸資産	1,167,033	1,200,000
(4) その他の経済事業資産	104,108	100,000
(5) 貸倒引当金	▲16,969	▲15,000
4. 雑資産	318,528	300,000
5. 固定資産	5,039,830	5,050,000
(1) 有形固定資産	5,034,689	5,045,000
(2) 無形固定資産	5,140	5,000
6. 外部出資	3,534,000	3,534,000
(1) 系統出資	3,319,410	3,319,410
(2) 系統外出資	196,090	196,090
(3) 子会社等出資	18,500	18,500
7. 繰延税金資産	177,237	180,000
<b>資産の部合計</b>	<b>149,798,035</b>	<b>146,384,000</b>

注) 千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。

## ●負債及び純資産の部

(単位：千円)

科 目	金 額	
	令和7年度実績 令和8年1月31日	令和8年度計画 令和9年1月31日
1. 信用事業負債	138,211,020	134,505,000
(1) 貯 金	137,900,943	134,000,000
(2) 借入金	2,259	5,000
(3) その他の信用事業負債	307,817	500,000
2. 共済事業負債	472,761	450,000
(1) 共済事業資金	222,542	200,000
(2) 未経過共済付加収入	250,143	250,000
(3) その他の共済事業負債	74	—
3. 経済事業負債	1,258,453	1,275,000
(1) 経済事業未払金	425,514	425,000
(2) 経済受託債務	686,236	700,000
(3) その他の経済事業負債	146,702	150,000
4. 雑負債	595,497	500,000
5. 諸引当金	321,264	300,000
6. 再評価にかかる繰延税金負債	743,849	743,000
<b>負債の部合計</b>	<b>141,602,845</b>	<b>137,773,000</b>
1. 組合員資本	6,533,100	6,961,700
(1) 出資金	3,088,266	3,059,000
(2) 利益剰余金	3,554,189	4,002,700
(3) 処分未済持分	▲109,355	▲100,000
2. 評価・換算差額等	1,662,089	1,649,300
(1) その他有価証券差額金	▲155,974	▲168,700
(2) 土地再評価差額金	1,818,063	1,818,000
<b>純資産の部合計</b>	<b>8,195,190</b>	<b>8,611,000</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>149,798,035</b>	<b>146,384,000</b>

注) 千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。

# 第33事業年度(令和7年度)損益計算書／第34事業年度(令和8年度)損益計画

(単位：千円)

科 目		金 額	
		令和7年度実績 令和7年2月1日～令和8年1月31日	令和8年度計画 令和8年2月1日～令和9年1月31日
信 用	収 益	1,283,294	1,476,028
	費 用	292,588	581,028
	利 益	990,706	895,000
共 済	収 益	679,833	657,500
	費 用	39,837	42,500
	利 益	639,996	615,000
購 買	収 益	3,772,302	3,531,000
	費 用	3,179,172	3,009,000
	利 益	593,129	522,000
販 売	収 益	762,270	1,534,000
	費 用	622,071	1,341,000
	利 益	140,199	193,000
保 管	収 益	20,245	24,000
	費 用	8,965	9,000
	利 益	11,280	15,000
加 工	収 益	33,272	34,000
	費 用	22,094	21,000
	利 益	11,177	13,000
利 用	収 益	186,677	191,100
	費 用	91,482	87,600
	利 益	95,154	103,500
宅 地 等 供 給	収 益	30,498	25,800
	費 用	5,662	4,000
	利 益	24,835	21,800
そ の 他	収 益	364,958	404,000
	費 用	286,265	309,600
	利 益	78,692	94,400
指 導	収 益	21,518	25,500
	費 用	34,382	39,000
	利 益	▲12,864	▲13,500
<b>事業収益合計</b>		<b>7,125,185</b>	<b>7,902,928</b>
<b>事業費用合計</b>		<b>4,552,836</b>	<b>5,443,728</b>
<b>事業総利益(A)</b>		<b>2,572,349</b>	<b>2,459,200</b>
事業 管理 費	人 件 費	1,677,182	1,712,100
	業 務 費	199,218	201,726
	諸 税 負 担 金	53,639	53,697
	施 設 費	336,366	358,794
	その他事業管理費	2,552	2,520
<b>合 計 (B)</b>		<b>2,268,959</b>	<b>2,328,837</b>
<b>事業利益(C) = (A) - (B)</b>		<b>303,389</b>	<b>130,363</b>
<b>事業外収益(D)</b>		<b>172,807</b>	<b>174,320</b>
<b>事業外費用(E)</b>		<b>63,393</b>	<b>65,057</b>
<b>経常利益(F) = (C) + (D) - (E)</b>		<b>412,803</b>	<b>239,626</b>
<b>特別収益(G)</b>		-	<b>2,656</b>
<b>特別損失(H)</b>		<b>2,402</b>	<b>2,656</b>
<b>税引前当期利益(I) = (F) + (G) - (H)</b>		<b>410,400</b>	<b>239,626</b>
<b>法人税・住民税(J)</b>		<b>101,914</b>	<b>63,700</b>
<b>法人税等調整額(K)</b>		<b>33,235</b>	<b>▲5,000</b>
<b>税引後当期剰余金(L) = (I) + (J) - (K)</b>		<b>275,250</b>	<b>180,926</b>

注) 千円未満を切り捨てて表示しており、金額千円未満の科目については「0」で表示しています。

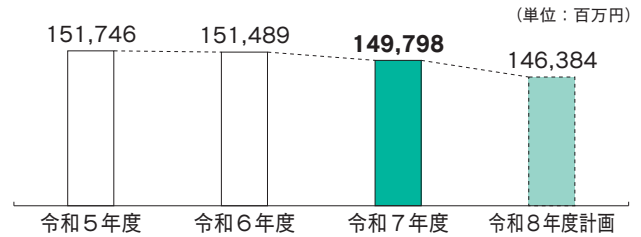
# 第33事業年度(令和7年度)ハイライト/第34事業年度(令和8年度)事業計画

令和7年度は、3ヵ年計画の第1年次として、「農業」「地域・暮らし」「組織・経営」「情報発信」の4つを柱に、「組合員・地域住民とともに笑顔になれるJAづくり」に向け、全正組合員を対象とする対話活動を実施し、組合員ニーズの把握・反映を図りながら、組織・事業運営に引き続き取り組みました。

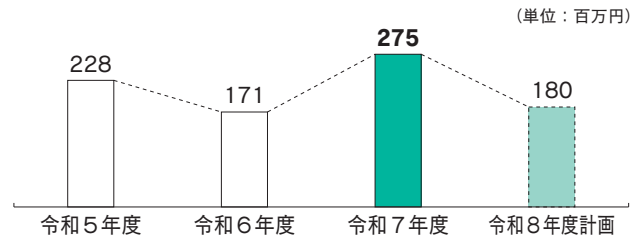
その結果、事業利益303百万円(計画対比379.1%)、経常利益412百万円(計画対比206.8%)、当期剰余金275百万円(計画対比226.4%)、自己資本比率16.98%(前年度より1.79ポイント向上)となりました。

令和8年度においても、3ヵ年事業計画の2年次として、第30回JA大会で決議された「持続可能で高付加価値な茨城農業の実現」に向け、組合員の財産を次世代へ円滑に引き継ぐためのサポートとして相続相談機能の強化、接点強化のために対話活動を継続的に実施し、生産現場の支援強化と収益確保にむけた構造的な改善の見直しと、その成果を事業の利用向上へ結び付けることで、事業計画の確実な達成に取り組みます。

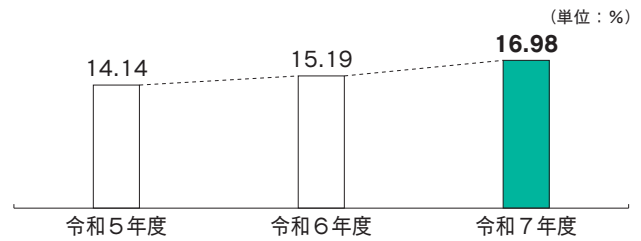
## 総資産額の状況



## 当期剰余金の状況



## 単体自己資本比率の状況



## 令和7年度剰余金処分計算書

### 第33事業年度(令和7年度)剰余金処分計算書

(単位:円)

1. 当期末処分剰余金	385,836,478円
2. 任意積立金取崩額	882,000,000円
事業再構築積立金取崩額	882,000,000円
3. 剰余金処分額	1,196,062,150円
(1) 利益準備金	60,000,000円
(2) 任意積立金	1,100,000,000円
資産評価対策積立金	1,000,000,000円
営農経済事業積立金	100,000,000円
(3) 出資配当金	36,062,150円
4. 次期繰越剰余金	71,774,328円

(注1) 出資配当金利率は1.2%の割合です。ただし、年度内の増資及び新規加入については日割計算をしています。

なお、自己資本充実のうえから、支払うべき配当金は各組合員の出資予約預り口へお預かりし、出資1口(1,000円)に達した時点で出資金に振り替えるものとします。

(注2) 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩基準等は別表のとおりです。

(注3) 次期繰越剰余金には、営農指導、生活・文化改善の事業の費用にあてるための繰越金14,000,000円が含まれております。

### 〈別表〉

(単位:千円)

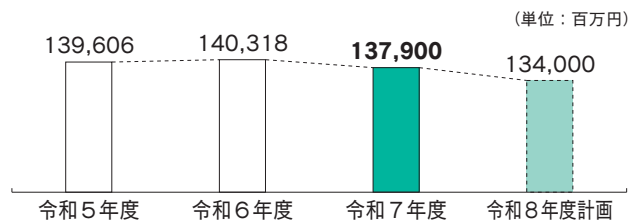
種類	目的及び取崩基準	積立目標金額	令和7年度末残高
税効果調整積立金	会計と税務の差額を埋めるために行う税効果会計による積立金です。		119,698
経営基盤安定化積立金	経営健全と自己資本の充実を図るための資金です。	600,000	600,000
事業再構築積立金	事業再構築のための固定資産取得や減損処理などの財源としての積立金です。	1,000,000	882,000
資産評価対策積立金	有価証券、固定資産、外部出資の減損リスク等及び固定資産の取得・処分・修繕に備えた積立金です。	1,500,000	-
営農経済事業積立金	営農経済・買取販売から生じるリスクに備える積立金です。	500,000	100,000

## ■信用事業の状況

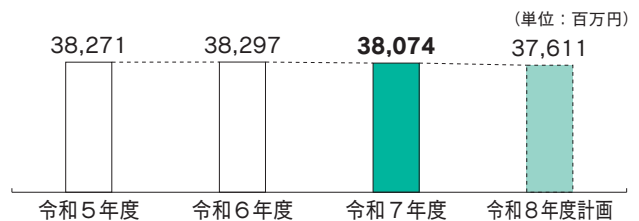
農業領域では、多様な担い手のニーズを把握し、資金ニーズに応えることで農業経営の支援をいたしました。くらし領域では、各種ローン等必要な商品、サービスの提供を行い、利用者の生活に寄り添う活動に取り組みました。その結果、貯金残高は137,900百万円（計画対比96.9%）、貸出金残高は38,074百万円（計画対比100.9%）となりました。

令和8年度においては、持続可能で高付加価値な茨城農業の実現に向けて、資金供給やニーズ・ライフイベントに応じた金融仲介機能を発揮します。そして組合員・利用者の皆さまとの接点強化を通じて、JA事業基盤の強化に取り組みます。

### 貯金残高の状況



### 貸出金残高の状況

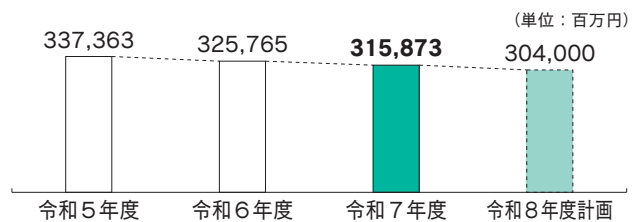


## ■共済事業の状況

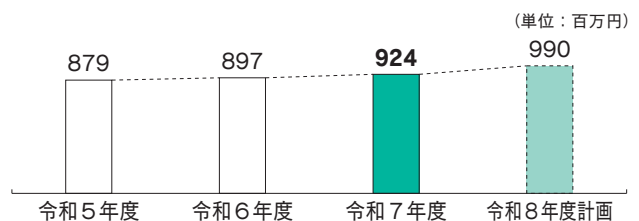
ライフステージや社会情勢の変化等に伴い、多様なニーズに応えるため、保障点検活動によって一人ひとりに最適な「ひと・いえ・くるま」の保障提案を行いました。また、Webマイページ・JA共済アプリの普及拡大により、利便性向上に努め、デジタル接点を介して利用者の皆さまの満足度向上に取り組みました。その結果、長期共済保有高315,873百万円（計画対比101.2%）、共済事業総利益639百万円（計画対比104.9%）となりました。

令和8年度は、組合員・利用者の皆さまの豊かなくらしと活力ある地域社会の実現に貢献するため、総合事業機能を発揮した「組合員・利用者の皆さま本位の事業運営」に取り組みます。

### 長期共済保有高の状況



### 短期共済新契約掛金の状況

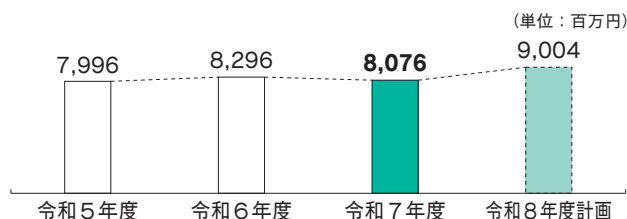


## ■ 営農販売・指導事業の状況

販売事業では、令和7年産米の業者間での買取り激化を受けて、主食用米のJA独自買取を合わせて実施しました。また、近年の高温影響に対応した「高品質米生産研修会」を開催しました。青果物においては、出荷量減少、価格低迷などの影響で、販売品取扱高は8,076百万円（計画対比97.9%）となりました。指導事業では、記帳代行、外国人技能実習生受入れにより、営農の継承・継続の支援のほか、米の集荷促進、有機農業研究会をはじめとする高付加価値販売などに取り組みました。

令和8年度は、担い手の育成と確保のために経営継承等への支援、環境保全型農業や気象変動に対応した講習会、高温耐性品種の試験などで、農業者の生産性と所得向上貢献に取り組めます。

### 販売品販売高の状況



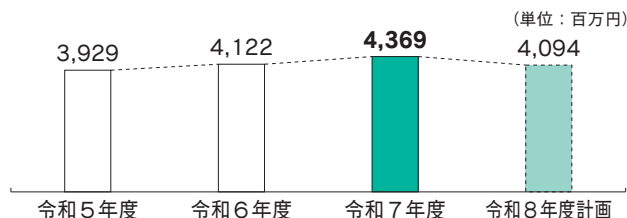
## ■ 購買事業の状況

生産資材については、土壌診断による理想的な土づくりの推進により、組合員の皆さまのコスト低減と効果的な施用の両立を提案しました。また、農機事業では、色彩選別機の需要拡大、低コスト

その結果、供給高は4,369百万円（計画対比116.9%）となりました。

令和8年度は、異常気象に対応した農業生産支援とともに、生産コストの低減・スマート農業の推進により、農業所得増大に貢献する取り組みを引き続き実施します。

### 購買品供給高の状況

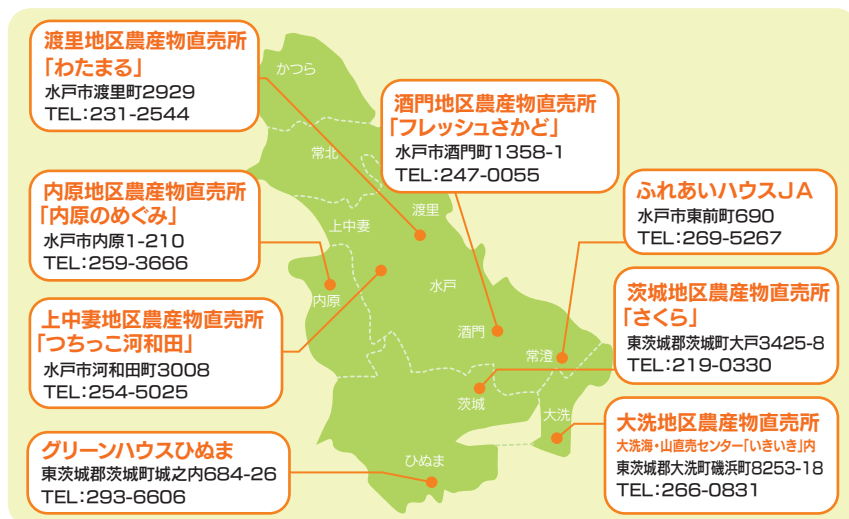


コンバインの普及拡大により、省力化・コスト低減を提案しました。生活物資については、耐久消費財と日用雑貨の供給拡大を図りました。



## ■ 准組合員は農業地域振興の大切なパートナーです

地元で作られた農畜産物を食べることで、地域農家の応援につながります。当JA管内では、数多くの農畜産物が生産されており、それらはJA水戸の直売所で購入することができます。また、管内の大型直売所やスーパーマーケットでもインショップとして地元野菜などを販売しています。当JAの農家の皆さまが丹精込めて育てた自慢の農畜産物を食べてみてください。



### JA水戸のインショップがある店舗

- Aコープ常北店
- Aコープかつら店
- ポケットファームどきどき茨城町店
- コープ水戸店
- ヨークベニマル管内各店
- カスミフードスクエア  
水戸赤塚店 水戸見川店  
水戸堀町店 水戸西原店  
イオンタウン水戸南店  
ひたちなか笹野店 那珂店
- カスミ  
千波店 馬渡店
- イオンスタイル水戸内原
- イオンスタイル水戸下市

## ■ こんなときは? お気軽にJAにご相談ください

### ● 住所・氏名等が変わった、組合員資格要件（就農・離農）が変わった

組合員の皆さまの届出必要事項（住所・氏名・相続等）や組合員資格要件（就農・離農等）変動が生じた場合、事前に電話等でご相談のうえ、必要書類をお持ちいただき、各支店窓口へお越しください（JAバンク・JA共済をご利用の方においても、窓口にて手続きいたします）。⇒ 支店所在地・電話番号（P15）

### JAバンク

#### ● キャッシュカード・通帳・証書・お届け印・JAカード（クレジットカード）のいずれかを紛失・盗難にあったら

ただちにお取引支店（口座開設支店）等にご連絡ください。

- 平日の営業時間（8:30～17:00）内  
各支店窓口 ⇒ 支店所在地・電話番号（P15）
- 土日祝日、上記の営業時間外  
キャッシュカード・通帳・証書・お届け印  
☎0120・557501（通話料無料）

JAカード（クレジットカード）（※）

☎0120・159674（通話料無料）

※キャッシュカード一体型のJAカードの場合は、再発行のお手続きも別途必要となります。

### 相続・事業承継

#### ● 相続や農業の事業継承について相談がしたい

当JAでは「くらしの相談員」を本店に配置し、JAの総合事業を通じて各種専門家やJAグループとの連携で、組合員の皆さまのご要望にあった対応をさせていただきます。

- 平日の営業時間（8:30～17:00）内  
⇒ 本店総務企画部企画課 ☎029・254・5113

### 不動産

#### ● 資産運用やアパート物件など、不動産に関すること

JA水戸ハウジングセンターにご相談ください（水曜日・日曜日・祝日は定休）。⇒ ☎029・350・1800

### 旅行

#### ● ツアー・JR券・航空券の手配をお願いしたい

JA水戸旅行センターにご相談ください（土日祝日は定休）。⇒ ☎029・254・9352

### 葬祭

#### ● 葬儀に関するご相談

JA祭典水戸にご相談ください（24時間受付・年中無休）。⇒ ☎0120・00・5942（通話料無料）

### プロパンガス・ガス器具

#### ● ガスの設備工事や、新しいガス機器の取付け・取外し

JA茨城エネルギー(株)水戸ガスセンターにご相談ください（土日祝日は定休）。⇒ ☎029・297・7780

### JA共済

#### ● 交通事故にあった

救急・警察へのお手配のうえ、JA共済のご契約支店等にご連絡ください。

- 平日の営業時間（8:30～17:00）内  
各支店窓口 ⇒ 支店所在地・電話番号（P15）
- 土日祝日、上記の営業時間外  
☎0120・258・931（通話料無料）

#### ● 火災・自然災害等で建物に被害が出た

JA共済のご契約支店またはLA（ライフアドバイザー）にご相談ください。

- 平日の営業時間（8:30～17:00）内  
各支店窓口 ⇒ 支店所在地・電話番号（P15）

## ●本店

事業所名	所在地	TEL
本店	水戸市赤塚2-27	254-5111
総務企画部	水戸市赤塚2-27	254-5111
人事課	水戸市赤塚2-27	254-5111
総務課	水戸市赤塚2-27	254-5111
企画課	水戸市赤塚2-27	254-5113
リスク統括部	水戸市赤塚2-27	254-5115
リスク管理課	水戸市赤塚2-27	254-5115
審査課	水戸市赤塚2-27	254-5115
金融部	水戸市赤塚2-27	254-5116
推進企画課	水戸市赤塚2-27	254-5116
業務管理課	水戸市赤塚2-27	254-5116
共済部	水戸市赤塚2-27	254-5117
普及企画課	水戸市赤塚2-27	254-5117
業務保全課	水戸市赤塚2-27	254-5117
営農販売部	水戸市赤塚2-27	254-9353
営農課	水戸市赤塚2-27	254-9353
販売課	水戸市赤塚2-27	254-9353
経済部	水戸市赤塚2-27	254-9354
経済課	水戸市赤塚2-27	254-9354
施設課	水戸市赤塚2-27	254-9354
旅行センター	水戸市赤塚2-27	254-9352
監査室	水戸市赤塚2-27	254-5114

## ●支店

事業所名	所在地	TEL
千波支店	水戸市千波町1867	241-2711
赤塚支店	水戸市赤塚2-27	254-7935
いばらき支店	東茨城郡茨城町長岡1263	292-0011
内原支店	水戸市内原1-210	259-2308
しろさと支店	東茨城郡城里町石塚572-1	288-2067
常澄大洗支店	水戸市大洗町1203	269-2446

## ●営農資材センター

事業所名	所在地	TEL
西部営農資材センター(上中妻センター)	水戸市大塚町1261-3	251-8621
予冷センター	水戸市飯島町1309-4	252-2525
那珂川購買センター	水戸市飯富町4436-1	229-7391
東部営農資材センター	水戸市大洗町1203	269-2430
大洗出張所	東茨城郡大洗町成田町208	266-2663
南部営農資材センター	東茨城郡茨城町城之内684-1	293-6166
長岡出張所	東茨城郡茨城町長岡1263	292-1313
北部営農資材センター	東茨城郡城里町阿波山2737	289-2712

## ●農機センター

事業所名	所在地	TEL
水戸農機センター	水戸市赤塚2-27	254-9359
常澄農機センター	水戸市大洗町1203	269-3727
茨城町農機センター	東茨城郡茨城町長岡1263	292-6054
常北農機センター	東茨城郡城里町石塚580-1	288-7062

## ●ハウジングセンター

事業所名	所在地	TEL
ハウジングセンター	水戸市中央1-6-32	350-1800

## ●農産物直売所

事業所名	所在地	TEL
上中妻地区農産物直売所「つちこ河和田」	水戸市河和田町3008	254-5025
渡里地区農産物直売所「わたまる」	水戸市渡里町2929	231-2544
酒門地区農産物直売所「フレッシュさかど」	水戸市酒門町1358-1	247-0055
ふれあいハウスJA	水戸市東前町690	269-5267
大洗地区農産物直売所	東茨城郡大洗町磯浜町8253-18	266-0831
グリーンハウスひめま	東茨城郡茨城町城之内684-26	293-6606
茨城地区農産物直売所「さくら」	東茨城郡茨城町大戸3425-8	219-0330
内原地区農産物直売所「内原のめぐみ」	水戸市内原1-210	259-3666

## ●農業関連施設・加工所

事業所名	所在地	TEL
上中妻ライスセンター	水戸市飯島町1309	254-8611
那珂川流域ライスセンター	水戸市渡里町3827-1	228-0005
常北ライスセンター	東茨城郡城里町増井1501-2	288-4599
常澄ライスセンター	水戸市塩崎町1200-2	297-2237
内原ライスセンター	水戸市鯉淵町3486-2	259-3378
内原育苗センター	水戸市鯉淵町5113-82	259-6588
城之内集出荷場	東茨城郡茨城町城之内673	293-9770
かつら農産加工所	東茨城郡城里町阿波山653-1	289-4547
かつら種子センター	東茨城郡城里町阿波山653	289-4705

## ●(株)ジェイエイ水戸グループサービス

事業所名	所在地	TEL
本社	東茨城郡城里町石塚1146-1	291-5137
Aコープ常北	東茨城郡城里町石塚1157	288-3334
Aコープかつら	東茨城郡城里町阿波山2737	289-2880

## ●JA水戸アグリサポート(株)

事業所名	所在地	TEL
本社	水戸市渡里町3832	246-6222

## ●祭典センター

事業所名	所在地	TEL
祭典センター(本社)	笠間市安居字下平2700-1	0299-45-8001
祭典センター(赤塚)	水戸市赤塚2-27	254-9357
東水戸ホール	水戸市元吉田町1521-5	247-5942
おくのやホール	東茨城郡茨城町奥谷1883	219-0983
中央水戸ホール	水戸市千波町2770-43	297-7722
城里ホール	東茨城郡城里町石塚1694	291-4194

## ●JA水戸農家の店しんしん内原店

事業所名	所在地	TEL
JA水戸農家の店しんしん内原店	水戸市内原1-210	257-0501

## ●JA茨城エネルギー(株)

事業所名	所在地	TEL
L P ガスセンター	東茨城郡茨城町下土師字高山1950-1	291-0611
常北SS	東茨城郡城里町石塚1157	288-5720
配送センター	東茨城郡城里町石塚1157	240-6662





## 水戸農業協同組合

MITO AGRICULTURAL COOPERATIVE ASSOCIATION

---

〒311-4141 茨城県水戸市赤塚2丁目27番地  
TEL.029-254-5111 FAX.029-254-9370  
<http://www.mt-ib-ja.or.jp/>